

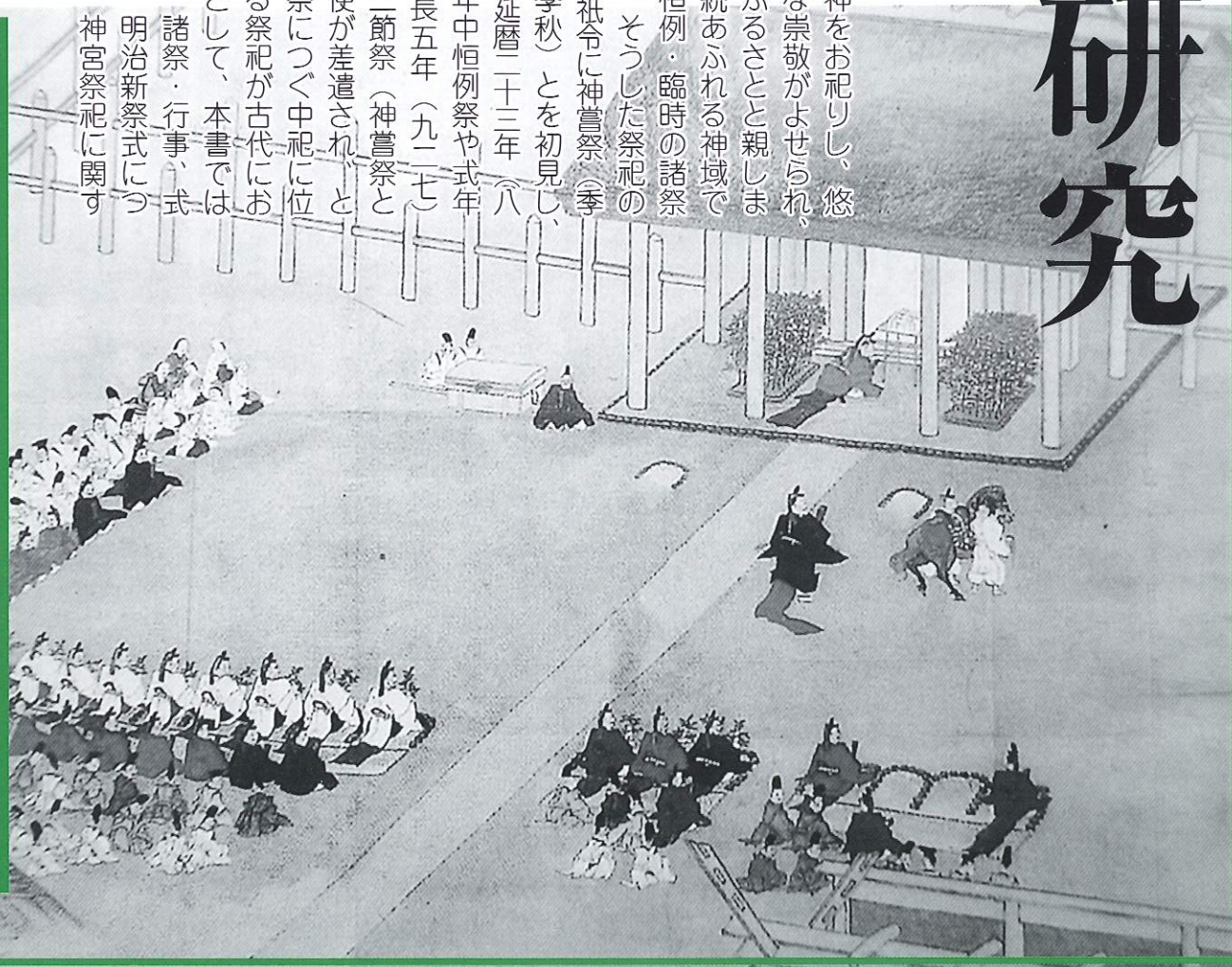
伊勢神宮の総合百科事典完成!!

神宮祭祀の研究

中西正幸著 (国学院大学教授)



伊勢の神宮は天照大御神をお祀りし、悠久の彼方より皇室の格別な崇敬がよせられ、ひろく国民一般から心のふるさとと親しまれてきた。この歴史と伝統あふれる神域では、四季の彩りゆたかな恒例・臨時の諸祭典がとり行なわれている。そうした祭祀の淵源をたどると、とおく神祇令に神嘗祭(季秋)と神御衣祭(孟夏・季秋)とを初見し、神宮最古の文献といつべき延暦二十三年(八〇四)の両宮儀式帳に、年中恒例祭や式年遷宮祭を掲げる。また延長五年(九二七)の大神宮式に、祈年祭と三節祭(神嘗祭と両度月次祭)に斎王や勅使が差遣されとりわけ神嘗祭は踐祚大嘗祭につく中祀に位置づけられている。主たる祭祀が古代において成立したことを前提として、本書では神宮の年中行事、恒例祭、諸祭・行事、式年・臨時祭、御料、職役、明治新祭式について多数の写真・図版で、神宮祭祀に関する論考を集大成!!



奉祝!! 第六十二回神宮式年遷宮

◎A5判・上製函入 七〇〇頁 定価二一、〇〇〇円+税

ISBN 978-4-336-04958-2

◎神宮祭祀の研究 目次

一、伊勢の神宮

神宮の祭祀

神宮の年中行事記

二、恒例祭

神嘗祭

月次祭

祈年祭

神御衣祭

風日祈祭

日別朝夕大御饌祭

三、諸祭・行事

正月行事

節供

山宮祭

氏神祭

四、式年・臨時祭

式年遷宮

遷御―祖型の再演―

臨時奉幣―近世の大嘗会由奉幣について―

御親詣

五、御料

御稻

御酒

御贄

御塩

御水

六、職役

禰宜―長官就任儀式―

大物忌

宇治大内人

七、明治の新祭式

神宮明治祭式

八、補論

黒瀬益弘と神宮祭祀

索引

中西正幸教授の著書

神宮式年遷宮の歴史と祭儀

中西正幸 A5判・上製函入・三三二頁・定価五〇〇円＋税

神宮における遷宮関係の技術と知識の集積は、神殿や神宝の造営と調製の現場により豊かな技術と知識が継承されており、千三百年にわたる式年遷宮の歴史と伝統に相応しく、それこそ（千古の生きた伝統の結晶）の奥深さがある。殊に神宮文庫に所蔵される久邇宮家下賜本、造宮（旧造神宮使庁）引継本を始めとする典籍・記録類は夥しく、しかも貴重なものである。本書では、近世までの成果を念頭にして、神宮式年遷宮を総説・歴史・祭儀・造営・神宝の諸領域に分け、その現状と課題を概観した。

伊勢の宮人

中西正幸 四六判・上製・六七〇頁・定価五〇〇円＋税

「神宮国学」とも称すべき神宮祠官（出口延佳・中西信慶・菊屋末偶・益谷末寿・足代弘訓・御巫清直・山田大路親彦・山口起業・岡吉胤・孫福弘等）らの国学研究によって、近世神宮学の展開過程を論述。